

「G7 広島サミット 2023 開催」に伴う 道路管理者としての対応について

広島県 土木建築局 道路企画課

1. はじめに

G7 広島サミットが令和 5 年 5 月 19 日から 21 日までの 3 日間にわたり開催された。

被爆地での初めての開催であり、原子爆弾による破壊から復興した広島に各国の首脳が集い、対話を重ねたことは、世界に向けた力強い平和のメッセージとなったところである。

広島県では、サミット成功に向けて広島サミット県民会議（広島県、広島市や経済・交通・医療など様々な分野の関係団体で構成する官民一体の組織）を組織し、訪問者の方々を広島ならではの温かいおもてなしでお迎えするため、オール広島で準備に取り組んできた。

本稿では、特に道路管理者として取り組んだ項目について報告する。



写真-1 G7 広島サミット 2023 に集った各国首脳（出典：広島サミット県民会議 HP）

2. 交通総量抑制対策

(1) 交通総量抑制対策

G7 広島サミットの主会場であるグランドプリンスホテル広島や、広島平和記念公園、要人等が宿泊されると見込まれたホテルは、広島市中心部に点在しており、要人等が移動する際には、大規模な交通規制の必要があった。

このため、令和 5 年 5 月 18 日（木）から 5 月 22 日（月）（サミット期間前後を含めた 5 日間）の間、要人等の移動に伴い、広島県内の高速道路および広島市中心部の一般道路の一部を断続的に封鎖するため、県民会議と広島県警察が発起人となり設立した「G7 広島サミット交通総量抑制対策推進会議」が中心となって、県民、県内の企業・自治体・学校等に対して、サミットが円滑に開催できるよう協力を依頼するとともに、交通規制の影響を最小限とするため、交通総量抑制に向けて様々な取組を実施した。

(2) 交通総量抑制の実績

広島県内の高速道路及び広島市中心部の一般道路において、1年前の同週同曜日と比較した交通量は53.8%削減となった。削減目標は50%であったことから、目標を達成することができた。



(通常時の午前8時)



(サミット期間中の午前8時)

写真-2 広島市内中心部の一般国道54号の様子

(出展：G7 広島サミット交通総量抑制対策推進会議)

3. 道路整備

G7 各国首脳等の安全・安心で円滑な受入に向け、サミット会場周辺や要人移動のルートとなる可能性がある道路について、安全性の確保や景観・環境の向上に必要な対策を実施した。

また、要人の受入や警備上必要な対応について、外務省や警備担当部局と調整を行うとともに、施設の利用制限を伴う場合については、施設利用者等との調整や情報提供などを行い、サミット開催期間中の円滑な一般交通の確保に取り組んだ。

(1) 各道路管理者間の連絡体制の構築

関係道路管理者や交通管理者で構成する『道路管理者等連絡協議会』を設置し、施設の修繕や警備上必要な対応等を実施した。

構成員：国土交通省中国地方整備局、広島県、広島市、呉市、廿日市市、西日本高速道路（株）、
広島高速道路公社、県警本部

主な連絡調整事項：

施設整備・道路管理、警備の実施に伴う道路管理者との連携、道路占用户・使用者等との連携、
一般利用者への交通規制や迂回路等の情報提供等

環境整備の内容：

舗装修繕、除草・剪定、防護柵改修等

(2) 道路施設の環境整備の例

① 中国地方整備局



舗装補修前



舗装補修後

写真-3 国道54号

② 広島県



舗装補修前



舗装補修後

写真-4 県道厳島公園線

③ 広島市



舗装補修前



舗装補修後

写真-5 市道中2区中島吉島線

4. サミット期間中の対応

各道路管理者が緊密に連絡を取り合い、サミット開催期間中（前後を含む）の対応を行った。

(1) 待機体制・連絡体制の構築

公共土木施設における安全性の確保、関係者間での確実な連絡・情報共有及び不測の事態が発生した際の迅速かつ確実な対応を行うことを目的とし、5月17日（水）から5月22日（月）までの6日間、各施設管理者等による24時間待機・連絡体制を構築した。

特に、要人の円滑な移動に重要となる道路については、県警を含めた関係者でオンライン会議を活用し、リアルタイムで情報共有を図るなど、より迅速に対応ができる体制を整え、この体制を活用し、県民会議、県警とも緊密な連携を図った。

(2) 施設パトロールの実施

① 中国地方整備局

広島市内の国道2号、国道54号、広島南道路の一部を「特別強化区間」、廿日市市内の国道2号宮島口付近を「強化区間」として、パトロール体制を強化し、安全性及び円滑な交通の確保を図った。

（巡回実施頻度）

対象区間	5/8（月）～5/17（水）	5/18（木）～5/22（月）
特別強化区間	昼：1回/1日 夜：1回/1日 自転車・徒歩：1回/3日	昼：2回/1日 夜：1回/1日 自転車・徒歩：1回/1日
強化区間		昼：1回/1日 夜：1回/1日 自転車・徒歩：1回/1日

② 広島県

要人等の通行が想定される重要路線（（主）広島空港線、（主）厳島公園線）、及び要人等の警備に係る安全対策が必要な路線（第1次・第2次緊急輸送道路）について、パトロール体制を強化し、安全性及び円滑な交通の確保を図った。

（巡回実施頻度）

対象路線		準備期間 4/19（水）～5/7（日）	強化期間 5/8（月）～5/16（火）	嚴重期間 5/17（水）～5/22（月）
重要路線	（主）広島空港線	1回/2日	1回/日かつ 夜1回/期間	2回/日 （昼・夜各1回）
	（主）厳島公園線			
その他 路線	G7広島サミット工事 抑制対象路線	1回/週		2回/日 （昼・夜各1回）

③ 広島市

要人等の移動が想定されるルートで、路面の陥没や段差、マンホール蓋等の損傷のほか、路肩の崩壊、防護柵等の損傷、倒壊等について、目視等による点検を行い、安全性及び円滑な交通の確保を図った。

（巡回実施頻度）

- ・強化期間5/8（月）～5/17（水）9：00～16：00 随時巡回

・ 厳重期間 5/18（木）～5/22（月）0：00～24：00 随時巡回

※ 5/22（月）は 16：00 まで

④ 呉市

要人等の通行が想定される呉駅周辺道路（今西通り、蔵本通り、中央二河町線ほか）について、パトロール体制を強化し、安全性及び円滑な交通の確保を図った。

⑤ 廿日市市

要人等の通行が想定される宮島島内の市道（包ヶ浦大砂利線、南線）について、パトロール体制を強化し、安全性及び円滑な交通の確保を図った。

（巡回実施頻度）

・ 5/18（木）～5/20（土） 2回/日

⑥ 西日本高速道路株式会社中国支社

要人等の通行が想定される山陽自動車道については、パトロール体制を強化し、安全性及び円滑な交通の確保を図った。

加えて、要人走行のために通行止めとなる山陽自動車道の、広域的なう回路を担う中国自動車道他についても、交通総量抑制対策の一環としてサミット期間中パトロール体制を強化し、う回機能の維持に努めた。

⑦ 広島高速道路公社

5月17日（水）から5月22日（月）まで特別警戒期間、各国首脳等の移動に際し、道路管理者として可能な限り通行直前までの道路の安全を確保するため、各国首脳等の急遽の通行にも対応できるように、広島高速道路における交通管制、道路巡回、交通流の監視等の体制を強化して対応を行った。

5. おわりに

本稿では、『道路管理者等連絡協議会』を通して、県警や県内の各道路管理者の取組について紹介を行ってきたが、サミットが開催された5月19日から21日までの3日間は、広島にとって特別な3日間となった。

この期間中、広島県庁がテレワークや休暇の取得を組み合わせ、出勤者を5割以上削減するなど、多くの行政機関で出勤抑制の取組を行うとともに、県下企業等においては、営業活動の自粛や工場の操業を休業するなど出勤者の大幅な縮減に協力いただいた。

また、県内の各種学校等の一部ではオンライン授業や休校等の処置がとられ、通学者の大幅な縮減にも協力いただいた。その上で、市内の路線バスや路面電車は、大幅に減便されるなど、県民の移動に制限がかかったが、大きな混乱もなく、世界中が注目する広島の非日常的な3日間を、大過なく終えることができた。

最後に、この紙面をお借りし、サミット開催にあたりご理解・ご協力をいただいた方々に感謝を申し上げます、結びとする。

なお、本稿で触れていない「オール広島」の様々な取組については、「広島サミット県民会議」のHP（下記アドレス参照）で、公開している。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-summit/>